

# 顧客の要求に応えるべく委託生産から現地法人設立へ (清水化学工業 株式会社)

## 会社概要(平成24年10月現在)

- 所在地:東京都足立区西新井6-25-13
- 代表者:清水 充
- 資本金:2,400万円
- 売上高:25億円
- 従業員数:60名
- URL:<http://www.shimizu-chem.co.jp/gaiyo.html>

## ①事業概要

### <ポリエチレン製品等製造・販売>

当社では、ポリエチレン(ポリオレフィン)製ショッピングバッグ・ファッションバッグ・レジ袋・ゴミ袋・巾着袋・特殊形状袋等の製造販売を行っている。ポリエチレンフィルムは、燃やしても水と炭素ガスに分解され、ダイオキシンを発生させないといった安全な包装材料で、これからも身の回りの様々な場面で活用されるものと考えている。当社では、小ロット、短納期にも対応できるよう柔軟な対応を心がけている。

近年は海外での委託生産も行っている。

## ②海外展開概要

### <中国における工場設置>

最近、環境問題によるレジ袋の有料化、石油価格上昇による原料価格の高騰などの逆風から一層の合理化を迫られている上に、顧客からは品質や短納期、少量ロットの要求が増え、中国における自社工場設立により顧客の要求にきめ細かく対応することを検討してきた。結果的に、中国での生産拠点設立に係る調査を行うこととなった。

しかし、全くの手探り状態で始めたため、当初は苦戦が続いた。平成17年のある時に、1枚の中小機構が主催のセミナーと個別相談の案内を見たのが、その後の海外展開への大きなきっかけとなったのである。そこには、中小機構の専門家が日本から中国現地に同行して、リアルタイムにアドバイスを受けられるという便利な方法を見つけたのである。

## ③取組の重点(活用した支援策を含む)

平成17年、中小機構の現地同行アドバイス制度を活用し、中国で中小企業の誘致や中国の工業団地を販売した経験のある中小機構の専門家とともに、江蘇省常熟市を訪れた。各工業団地を訪問し、投資環境を比較検討し、包装印刷の許認可条件と実態を調査した。他にも蘇州、大連、青島を訪問した。現地訪問の成果を上げるために、事前に訪問先に質問票を送り、出発前に回答を入手もしくは訪問時に確実に文書で回答をもらえるよう配慮した。さらに、現地登録アドバイザー制度を活用し、3日間に亘る現地アドバイスを受けた。

その後も、会社設立手続き、会計・税務の概要、給与体系の策定、などアドバイスを受け実施した。

## ④今後の事業展開について

工場は順調に生産を続けており、大きな問題は無い。但し、昨今の人件費の急激な上昇、最近の反日感情の高まりからくる将来への不安は有り、動静を観察する必要がある。中国のカントリーリスクの観点から、いずれは長い眼でみて、プロジェクトを再考せねばならない時が来るかも知れない。



(平成24年10月現在)

データ出所:(独)中小企業基盤整備機構